

一般社団法人全国楽器協会 平成 28 年度第 1 回社員総会議事録

- 開催日時 平成 28 年 6 月 10 日 (金) 15:00 - 16:10
- 場所 東武ホテルレバント東京「錦の間」(東京都江東区錦糸)
- 出席理事・監事 別記 1
- 来賓 経済産業省 日用品室 中内重則様、飯塚奉弘様

<開会>

定刻 15:00 になり、事務局より開会が宣言された。

<定足数の報告>

続いて事務局より本総会の出席者数について以下のように報告があり、定款第 36 条に規定する決議に必要な定足数を満たしており、本会が成立している旨の報告があった。

議決権のある社員総数	537 名
この議決権の総数	537 個
出席社員数	66 名
書面により議決権行使した議決権の数	235 名
これらの議決権の総数	301 個

<会長挨拶>

続いて、中田卓也会長より挨拶があった。

(挨拶要旨)

皆さんこんにちは。

本日はお忙しい中、一般社団法人全国楽器協会設立総会にご出席いただき誠にありがとうございます。

全国楽器協会は本年 4 月 1 日をもって「一般社団法人」として新たなスタートを切ることができました。これもひとえに会員各位のご理解とご協力のお蔭であると改めて厚く御礼申し上げます。

ところで、4 月半ばに発生した熊本・大分地方の大地震につきましては、本日この時点におきましてもいまだに完全終息した状況にはありません。大きな被害を受け、今まだ以前の営業活動ができない楽器店様もいらっしゃいます。今回の地震により被災された皆様方にはこの場を借りましてお見舞い申し上げますとともに、我々としても微力ながら復興に対して何らかのお手伝いをさせていただきたいと思っております。

さて、昨年 2 月に行われました全楽協理事会で私は二つの大きなテーマについてお話しさせていただきました。

その一つは、ここ数年楽器需要が低迷している中、高校生を中心とした軽音活動が各地で盛り上がりを見せており、我々楽器業界としてもこの「軽音ブーム」を更にバックアップし楽器の需要増につなげていきたい、ということでした。このテーマについては音楽普及委員会の中にワーキンググループを設置し、議論を重ねていただきました。

結果として各地の軽音連盟とも連携を築くことができ、本年度からは全国の高校文化部活動の総本山ともいえる「全国高等学校文化連盟」の助成団体として協力させていただくことになりました。

7月に広島県で開催される「全国高等学校総合文化祭」では第40回目の今年、初めて軽音楽部門の全国大会が実施され、各地の軽音連盟からの代表バンドが広島で日ごろの成果を発表することになっています。

来年以降もこの「総文祭」で軽音楽大会の開催が予定されており、各地の軽音部員にとっては大きな目標として日ごろの活動の励みになるものと期待されています。

全楽協としてはこの軽音活動に対する支援を継続し、若年層の楽器需要増につなげていきたいと思えます。

もう一つのテーマは、まさに本日の設立総会がその第一歩ともいうべき「全楽協の構造改革」についてであります。

こちら昨年より総務委員会の中に組織検討プロジェクトを設け、製造、卸、小売それぞれの立場から多くの議論をいただきました。

その結果として本年 2 月に行われました全楽協理事会にて、全製協、全卸連、全小連の 3 つの全国組織の枠組みが解消となり、また全国楽器協会そのものも一般社団法人化を目指しその中身も根本的に変えていくことをご承認をいただきました。

本日この総会にて、皆様今回の改革のまさに骨格となる本年度の事業計画案と収支予算案について議論いただき、今後の全楽協の方向性についてご賛同をいただきたいと考えております。これまでの全楽協では「楽器フェア」にあわせて開催しておりました「全楽協大会」にて事業計画や実施事業の報告を行ってまいりましたが、2年に一度という変則開催で、また会員各位には決定事項のご報告という形式となっていました。

今後は本日のように年 1 回必ず総会を実施させていただき、前年度の事業報告、新年度の事業計画や事業予算について会員各位全員からその内容についてご議論とご承認をいただく形となります。

そういう意味も含めて、今後全楽協は会員の皆様のご意見を更に反映していくこととなり、会員各位との結びつきはより強まっていくものと考えております。

本日はお手元にあります議案書の内容についてご議論いただきますが、この議案書の内容だけが今回の組織改革の結論という訳ではありません。将来にわたり楽器業界が健全に成長していくためにはまだまだ議論を重ねていき、時には軌道修正していかなければならないこともある

かと思えます。

今回の全楽協改革の目的は楽器市場の拡大とともに会員企業様の発展であることは言うまでもありません。

楽器業界を取り巻く環境が激しく変化している中、業界発展に向けて、のんびりしている余裕はないと思っております。

お集まりいただいている皆様方には、一般社団法人となった全国楽器協会をより魅力ある組織にしていくために、今後さらなるご支援、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

最後に皆様方のご健勝とご活躍を心よりお祈りし、冒頭の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

<来賓挨拶>

続いて、来賓を代表し経済産業省日用品室の中内室長様よりご挨拶があった。

(挨拶要旨)

皆様こんにちは。高いところから失礼いたします。経済産業省日用品室の室長をしております中内といいます。4月に他部署より異動してまいりました。これから宜しくお願ひしたいと思ひます。まず初めに先ほど中田会長からも言われておりましたが、今回の「熊本地震災害」に際しまして被災された方々や関係者の皆様方に対して心からのお見舞いを申し上げたいと思ひております。私共としましては総理の指示による仮設トイレなども含めた、生活物資の調達を主に担当しております。このゴールデンウィーク期間中を含めて、飯塚などの関係者と共に最大限の支援をしてきたところでございます。1日も早い復興に向けて政府一丸となって取組んでまいりますので、皆様におかれましてもご理解とご協力を賜りますように宜しくお願ひしたいと考えています。

さてこのたびは、中田会長をはじめとする皆様方の努力によりまして協会の法人化がなされ心からお喜び申し上げます。誠におめでとうございます。

昭和 23 年に設立され、永らく業界振興に携われた皆様におかれましては、この法人化を機に、業界内の結束を更に強化し新しいステージに向けて取り組んでいただければと思ひています。日頃より音楽の力というのは本当に偉大だと実感しています。そしてまた皆様方の日々のご努力により新しい、さまざまな付加価値の高い製品が登場しています。まさに日本のモノづくりの質の高さを再認識しているところです。今後も素晴らしい製品をご提供いただきたいと思います。音楽を通じた「おもてなし」これを世界中に発信していただきたいと思います。

そして一方で少子化による演奏人口の減少が課題にあると考えます。こういった中で軽音楽を通じた若い世代をターゲットにした需要の掘り起こしや、また製品の安心・安全への取組にもご尽力をいただきたいと思います。それからイベントについて申し上げますと、今年 11 月にビッグサイトで日本最大の音楽総合イベントであります「2016 楽器フェア」開催が予定されていると聞いています。世界最大の一般消費者向けの音楽フェアであるこのビッグイベントが成功裏に終了するように祈念しております。他方で本業界では工程の改善や合理化による VOC の

削減にも取り組んでいただきこの場をお借りし御礼申し上げます。経産省も今月中旬には組織改革を考えており日用品室という名前は無くなります。製造産業局と局も変わります。ただこういった中でも皆様方との関係は何ら変わりません。最後に中田会長をはじめとする本業界のますますのご発展、そしてご列席の皆様方のご健勝とご活躍を祈念して、それから6月6日の楽器の日が国民全体に広く浸透するように心から祈念して私の挨拶とさせていただきます。

<議長選出>

本総会の議長は定款第35条に基づき、本日出席の社員の中より山崎隆志理事が選出され、満場一致で承認された。

<議事録署名人選出>

本総会の議事録署名人は定款第40条に基づき、本日出席の社員の中から大橋仁理事と服部勝彦理事の2名が選出され、満場一致で承認された。

<設立趣意説明>

第1号議案の審議に先立ち、まず事務局より一般社団法人全国楽器協会の設立趣意があった。またその中で、設立時理事監事の方々の紹介があった。

<審議事項>

1. 第1号議案 「平成28年度事業計画（案）」について

事務局より平成28年度の事業計画のうち、主要な4点についての説明があった。

説明の後、質問を募ったが特に質問事項はなく、採決に入り、全員一致で第1号議案は承認された。

2. 第2号議案「平成28年度予算（案）」について

第1号議案に引続き事務局より平成28年度の予算案についての説明があった。

説明の後、質疑応答に入ったが特に質問事項はなく採決に入り、全員一致で第2号議案は承認された。

<報告事項>

1. 平成29年度以降の会費制度検討について


審議事項の後、続いて事務局より平成29年度以降の会費制度検討について、総務委員会にて上半期末（9月末）をめどに検討する旨の報告があった。


<閉会宣言>

それ以外の質問発言等もなく、議長より審議事項および報告事項がすべて終了したことが宣言され、16時10分に閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成 28 年 6 月 10 日

議事録署名人 理事 服部 晴彦 

議事録署名人 理事 大橋 仁 

<別記1>

■一般社団法人全国楽器協会 平成28年度社員総会 理事監事出席者名簿

<日時> 平成28年6月10日(金) 15:00 - 16:10

<場所> 東武ホテルレバント東京 「錦の間」

		氏名	企業名	所属		出欠
1	代表理事 / 会長	中田 卓也	ヤマハ(株)	製造	静岡	○
2	理事	青木 雅人	(株)長井理研	小売	東北	○
3	理事	安藤 仁	カシオ計算機(株)	製造	東京	○
4	理事	井村 卓治	(株)井村	小売	近畿	○
5	理事	岩間 昌一	(株)ライリスト社	卸	中部	×
6	理事	大池 真人	ヤマハ(株)	製造	静岡	○
7	理事	大橋 仁	(株)プリマ楽器	卸	東部	○
8	理事	小川 守一	(株)日本屋楽器	小売	東京	○
9	理事	押木 正人	ヤマハ(株)	製造	静岡	○
10	理事	河合 健太郎	(株)河合楽器製作所	製造	静岡	○
11	理事	木川 洋	(株)大阪フェルナンデス	卸	西部	○
12	理事	栗原 豊	(株)デュープレックス	製造	東京	○
13	理事	齋藤 宰	(株)こおろぎ社	製造	西部	○
14	理事	田中 康雄	(株)帯広旭楽器商会	小売	北海道	○
15	理事	寺田 章悟	(株)寺田楽器	製造	中部	○
16	理事	内藤 民部	内藤楽器(株)	小売	関東	○
17	理事	服部 勝彦	(株)第一楽器	小売	中部	○
18	理事	羽田 正巳	(株)十字屋	小売	九州	○
19	理事	平賀 康彦	新見楽器(株)	卸	東部	○
20	理事	村上 二郎	(株)河合楽器製作所	製造	静岡	○
21	理事	山崎 一彦	ローランド(株)	製造	静岡	○
22	理事	山崎 隆志	(株)開進堂楽器	小売	中部	○
23	理事	山野 政彦	(株)山野楽器	小売	東京	×
24	理事	渡邊 朋唯	(株)ワタナベミュージックラボ	小売	中四国	○

1	監事	佐藤 忠弘	スター楽器(株)	小売	東京	○
2	監事	澤野 優	(株)ミュージックトレード社	※員外監事		○
3	監事	宮澤 正	ミヤザワフルート製造(株)	製造	東京	○